

公益財団法人 8020 推進財団

令和 6 年度 歯科保健活動助成事業報告書 [抄録]

1. 事業名：歯科医療従事者の保健指導力向上による「かかりつけ歯科医」機能強化事業
2. 申請者名：一般社団法人新潟県歯科医師会 会長 松崎正樹
3. 実施組織：一般社団法人新潟県歯科医師会、公益財団法人新潟県歯科保健協会
4. 事業の概要： 口腔の健康と全身疾患との関わりが明確になり、医科歯科連携をはじめ多職種連携の推進が求められている。また、「コモンリスクファクターアプローチ」の概念が提唱されるなど、歯科医療従事者には口腔疾患の治療予防に止まらず、全身疾患に対する保健指導をも念頭に置いた患者ならびに地域住民へのアプローチが期待されている。すなわち、これからの歯科診療所では、「かかりつけ歯科医」として、様々なリスクファクター、疾病、さらには保健指導力（コーチングスキル）について学び機能を強化しつつ、自院をかかりつけとする患者さんの口腔管理と健康寿命の延伸、生活習慣病予防に寄与しなければならない。 このような観点から新潟県歯科医師会では、平成 30 年度より歯科医療従事者（歯科医師、歯科衛生士等）を対象に保健指導力向上を目的とした研修会事業を開始し、禁煙、糖尿病管理とコーチングスキル等についての研修を実施してきた。 さらには、患者側の健康教育や啓発活動による県民意識向上も重要であり、「オーラルフレイル」「低栄養」を題材にした啓発動画を作成し、SNS 広告を運用するなど県民啓発に努めた。
5. 事業の内容： 【歯科医療従事者の保健指導力向上研修会】 日時 令和 7 年 2 月 6 日（木）午後 4 時～同 5 時 30 分 会場 新潟県歯科医師会館 3 階「第 1.2 会議室」、オンライン・ライブ配信 演題 歯周病と糖尿病～長期症例からわかること～ 講師 大森みさき先生（日本歯科大学新潟病院 総合診療科 准教授） 参加者数 83 人（歯科医師 69 人 歯科衛生士 10 人、歯科助手 4 人） その他 日本糖尿病協会 登録歯科医のための講習会該当、令和 6・7 年度日歯生涯研修事業該当 【「オーラルフレイル」「低栄養」啓発事業】 11 月の「にいがた健口文化推進月間」にあわせて、『Well-being 豊かな暮らしのために治療から予防へ』を中心に、「オーラルフレイル予防」「高齢者の低栄養」などを、テレビ番組、ラジオ番組・CM を活用しながら県民啓発に努めた。 ・ラジオ番組（BSN 新潟放送） 11 月 1 日、8 日 13：20～（広報広聴部員が出演） 11 月 4 日、11 日、18 日、25 日 10：05～（広報広聴部員が出演） ・ラジオ CM 11 月の一カ月間、スポット CM を 60 回放送 「オーラルフレイル予防」「誤嚥性肺炎に注意」「お口の体操」「食べる力は生きる力」 ・テレビ番組（BSN 新潟放送） 11 月 9 日、12：10～（役員が出演） Well-being、定期歯科健診、オーラルフレイル予防について説明。
6. 実施後の評価（今後の課題）： 歯科医療従事者の保健指導力向上研修会の開催は 7 年目を迎え、これまでの受講者の日常診療における保健指導力、コーチングスキルに関してどのような変化があったかは、受講者アンケート等で調査したいと考える。また、令和 4 年県民健康・栄養実態調査報告（新潟県）によると、「オーラルフレイル」という言葉を知っている人の割合は、男性 18.8%、女性 32.8%であり、前年度調査と比較して割合も上がっていないことから引き続き県民啓発に努めたい。 「コモンリスクファクターアプローチ」の概念に基づき、口腔疾患のみならず、多方面への保健指導を行うことによりかかりつけ歯科医として地域住民の健康寿命延伸に寄与する機能が求められ、保健指導を行う上でのスキル向上、指導環境の整備を目的とした事業を展開し、「かかりつけ歯科医」機能強化を図りたい。